

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「遺跡発掘でわかった縄文のムラとくらし」第2期事業
事業主体 (連絡先)	ふるさと文化を語り継ぐ会 茅野市北山 6574
事業区分	(1) ③教育、文化の振興に関する事業 (1) ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	607,416 円 (うち支援金 : 485,000 円)

#### 事業内容

- ①事業の内容・意義を大昔調査会会員はじめ一般市民の理解と関心を得るために講演会を開催した。
- ②資料作成に当たっては、各市町村が保有する「発掘調査報告書」の使用許諾を得て大昔調査会が精力的な作業を行った。
- ③遺跡現状の映像化に当たって、視覚的効果を高めるためにドローン撮影を行った。
- ④ホームページ掲載用データ作成において地図データ上の遺跡マークと解説の連動、ドローン映像ユーチューブ化などエルシーブイの技術力を活用したシステム開発を行った。
- ⑤成果活用に当たって、報告会や小学校授業で紹介した。



【ドローン講座・撮影風景】

#### 【目標・ねらい】

- ①諏訪の縄文時代の文化遺産を可視化すること
- ②遺跡マップに遺跡所在地表示と解説を一体化すること
- ③専門分野の知識と技術力をタイアップし、視覚効果を高めること
- ④一般に周知し関心を深めること

#### 事業効果

第2期事業として諏訪全域の資料が整ったことでの活用が本格化する。

- ① マップデータと解説資料を一元化した。
- ② 資料の選定解説を大昔調査会、データ処理システム開発をエルシーブイに委託し相互協力関係を緊密に行い能力を最大限活用し完成度を高めた。
- ③ 大昔調査会と共催した講演会は毎回満席状態(約80名)で好評を得ると共にホームページ他に類例がなく注目された。

なお、マスコミ取材掲載により周知度を高めた。

※自己評価 【 A 】

#### 【理由】

諏訪地域全域の縄文遺跡分布の状況を視覚化し、学術的利用を超えて一般市民に訴求力を他に類例なく高めた。

#### 今後の取り組み

- ① 一般市民対象の講演会等での活用を奨励し、学校教育関係での活用を広げる。
- ② 日本語表現以外に外国語表現(英文化等)を加え世界への発信力を高める。